

生活に新しい秩序をそだてよう

— 変化のはげしい今日の社会において —



労働省婦人少年局
リーフレット NO. 84

ご家族といっしょに 考えてください

質 問	答 え
余暇活動として 何をしていますか	
家庭や職場 学校などで最近 家族に けがや事故はありませんか	
目新しい生活物資はあっても 家庭生活に大切な品物が欠けてはいませんか	
家族や自分の職業について 何か 新しい問題は起きていませんか	
農業基本法について 知っていますか また農業経営についてどこで勉強していますか	
老後の生活について どんな設計を持っていますか	
地域社会の福祉のために どんな活動をしていますか	

婦人週間とは

昭和21年4月10日に 日本の婦人は はじめて国会議員を選挙しました この選挙から婦人も男子と同じく 政治に参加することになりました

この4月10日を記念して 労働省では昭和24年から毎年 その日から一週間を“婦人週間”として 婦人の地位をたかめるための運動を主唱してきています 今年は その第14回目にあたり “生活に新しい秩序をそだてよう”ということを目指しています

このリーフレットの増刷 転載を希望されるむきは 労働省婦人少年局または 各都道府県の婦人少年室にご連絡ください

日本の社会は はげしく変わり

つつあります

私たちの生活を見まわしても——

○目新しい 便利な生活物資が
いろいろ出まわっています

○余暇のための 設備や機会も
ふえました

○職場では 仕事のしかたが
機械化してきて また 新しい
職業も出てきました

○農業技術も進み 農家の生活
様式も変わりつつあります

○近代的建築の 大きな団地も
どんどんできています

このように 私たちの生活は
新しく また 豊かになっていま
すが 同時に——

新たな問題も 生まれてきています

○生活の速度が 早くなって
疲れやすく 事故も多い

○消費の欲求が 強くなって
生活のバランスが 乱れ
がちになる

○家族が てんでんばらばら
な気持でいる

○アパートや 社宅ぐらしの
付き合いのしかたに 悩む

○農村の人口が動いて 農家
では 人手不足になりがち

○近代化していく 職場への
適応がむづかしい など

このように 問題の多い今日の
社会において 私たちは 生活の
はこび方のすじみちを たてなおす
必要はないでしょうか——生活に
新しい秩序をそだてることが
必要ではないでしょうか——
それが 今日の婦人に求められて
いる 課題ではないでしょうか

その課題にこたえて 婦人は
主婦として 職業人として

集団の一員として また

世論形成者として

日々の生活の中で 努力しましょう

○買いもの一つにも 自主性を
持ち

○社会の変化や 将来の生活に
ついて 考えを深め

○豊かな人間性をそだてるため
に 余暇生活にも 積極的な
設計を持ち

○生活の 基本的な部分や
身近かな環境を 大切にし

○社会の 犯罪や事故をなくす
努力や さらに 国民全体の
福祉のための しくみを進める
活動をし

家庭 職場 社会 の生活に

新しい秩序をそだてていきましょう

婦人の 新しい役わりとして——

世の中の新しい動きを知るために考えてみたい問題

消費生活の問題 余暇生活の問題 安全についての

問題 家族の問題 職業についての問題

農村生活の問題 習俗の問題

新しい生活秩序をそだてるうえで大切なこと

生活における自主性 生活における科学性

人間性の尊重 生活のバランスの認識

市民としての共同責任感